

当社ご挨拶

基調講演

デジタルテクノロジー株式会社



本日まで登録頂いた方々

230名

改めまして、ご登録ならびにご参加頂きましたこと
厚くお礼申し上げます。



会社概要

会社概要

- 商号 デジタルテクノロジー株式会社
- 創業 昭和63(1988)年 8月
- 資本金 100百万円 (株式会社DTS 100%)
- 売上高 11,330百万円 (2023年3月期実績)
- 従業員 109名 (2023年3月31日現在)
- 拠点 (東京本社) 東京都荒川区東日暮里5-7-18 コスモパークビル
(営業部門) 東京都中央区八丁堀2-23-1 エンパイヤビル
(大阪支店) 大阪市淀川区西宮原2-7-53 マルタビル

DTSGループ

- 親会社 株式会社DTS
- 創業 昭和47(1972)年 8月
- 資本金 6,113百万円 (東京証券取引所プライム市場上場)
- 売上高 106,132百万円 (2023年3月期実績/連結)
- 従業員 5,703名 (2023年3月31日現在/連結)
- 事業内容 システムインテグレーションサービス、ソフトウェア開発
- 本社 東京都中央区八丁堀2-23-1 エンパイヤビル



当社営業部門とDTS本社があるエンパイヤビル



当社沿革と当社顧客

ITインフラの輸入販売

海外より最新の製品をいち早く輸入

インフラに特化したSIer

お客様の真の課題と向き合い、常に最適なインフラソリューションをご提供

1988年
創業

2009年
DTSグループ入り

2023年
創業35周年



おかげさまで創業35年を迎えました。
これまでも、これからも。
お客様に常に寄り添い、最適なITインフラをご提供致します。

創業以来のお客様

文教公共/研究機関

国立大学・高専
独立行政法人
etc

～約300法人～

設計開発

大手製造業
通信事業者
(クラウド・DC事業者)

～約100法人～

合計口座数
2,300法人

情報システム

従業員500名未満の
各種法人

～約1,200社～

SIer

当社技術力をお求め
の同業者

～約700社～

DTSグループ入り以降のお客様



当社ソリューション



この道35年の老舗。
専門のソムリエたちが、お客様の
真の課題を解決します！

旧基盤

②

①
新規基盤

③

各インフラ

② 各種移行ソリューション

- Active Directory移行
- データ/Profile移行
- Microsoft365移行
- ファイルサーバ移行
- その他既存環境移行

① 新規基盤構築ソリューション

- オンプレミス 設計構築
- ハイブリッドクラウド 設計構築
- マルチクラウド 設計構築
- ネットワーク/セキュリティ 設計構築

③ バックアップソリューション

- テープバックアップ/リストア
- ストレージバックアップ/リストア
- クラウドバックアップ/リストア



当社ソリューション



この道35年の老舗。
専門のソムリエたちが、お客様の
真の課題を解決します！



当社の強み

- 国内に流通する**ほぼ全てのバックアップソフトの構築運用の実績**があり。
- エンドユーザ様はもちろん、同業のSIer様からのご依頼も多く、創業以来のべ**数千社へのバックアップソリューションの導入実績**があり。

③ バックアップソリューション

- テープバックアップ/リストア
- ストレージバックアップ/リストア
- クラウドバックアップ/リストア



当社お客様の最近のバックアップ事情

1

2021年頃より**ランサムウェア対策**として
バックアップのお引き合いが**激増**

2

バックアップの状況確認を行っている過程で
リストアできないシステムが多数発覚

3

バックアップシステムを大幅に見直すことで
真のランサムウェア対策を実施

上記課題解決の過程で**セキュリティソリューションの要望も増え**
多くのお客様に導入を進める。



サイバー保険加入者が狙われている！

⇒ サイバー保険の補償額であれば、皆さん払ってしまいます。

⇒ しかし、2022年12月に改正された外為法^(外国為替及び外国貿易法)でサイバー攻撃団体への金銭支払は法令違反となりました。

反社会的組織への金銭支払が発覚すれば、会社の信頼が崩れ事業継続が厳しくなることが予測されます。



当社が考えるランサムウェア対策

Priority1 :

至急しなければいけない対策

マルウェアに**入られることを**
前提とした対策の実施

Priority2 :

今後しなければいけない対策

マルウェアに**入られにくい**
環境づくりの実施



当社が考えるランサムウェア対策：昨年からのお願い

Priority1 :

至急しなければいけない対策

マルウェアに**入られることを**
前提とした対策の実施

⇒ 大手企業はもちろんのこと、**中小企業も進めている対策**

クラウドを有効活用した
バックアップの見直し



アンチウィルスを見直し
EDRを導入

Endpoint Detection and Response



特権IDの管理方法を見直し
被害の最小化





当社が考えるランサムウェア対策：今年からのお願い

Priority2 :

今後しなければいけない対策

マルウェアに**入られにくい**
環境づくりの実施

⇒ 大手企業から検討が始まっている対策。
経済産業省 商務情報政策局が発表した
ASM(Attack Surface Management)導入ガイダンスにて注意喚起。

(引用)

令和5年5月29日 経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課発行

「ASM導入ガイダンス 外部から把握出来る情報を用いて 自組織のIT資産を発見し管理する」

<https://www.meti.go.jp/press/2023/05/20230529001/20230529001-a.pdf>



ASMとは？

組織の外部(インターネット)からアクセス可能なIT資産を
発見し、それらに存在する脆弱性などのリスクを継続的に
検出・評価する一連のプロセス

当社が重要と
考える対策

ゲートウェイの脆弱性を
最大限に抑える対策



サイバー攻撃の大きな原因と
なっているパスワード管理対策





本日のプログラム

1

特権ID管理・パスワード管理

⇒ Keeper Security APAC株式会社

2

クラウド活用・バックアップ見直し

⇒ Wasabi Technologies Japan 合同会社

3

アンチウィルス見直し

⇒ SentinelOne Japan 株式会社

4

脆弱性対策

⇒ Zscaler株式会社



本日は素敵なプレゼントもご用意しておりますので、
是非最後までお聴き頂ければ幸いです。